

避難訓練今昔物語

7月10日(月)に火事を想定した避難訓練を行いました。全校生徒が整然とした訓練を行うことができました。

さて、我々が小、中学生のころの学校における避難訓練といえば火事と地震の2種類しかありませんでした。しかし、最近の避難訓練はこの他に不審者対策が加わります。凶器を持つかもしれない不審者が校内に侵入したという想定です。対話が成り立つ不審者であれば、不審者を校長室へ誘導し、校長が対応している間に生徒を安全な場所に避難させる—というのが一般的な避難マニュアルです。悲しいことにこの間の校長の安全は保障されていません。校長の安全はともあれ生徒は絶対安全でなければなりません。しかし、ここで一つ問題があります。生徒に対して避難指示をどのように伝えるかです。「ただ今校長室に不審者が入りました。校長先生が時間かせぎをしている間にみなさん避難しましょう。」これを校内放送で流せば、校長室の不審者にもこの放送が聞こえてしまうわけです。そこで一つの校内ルールを決めます。内部機密事項ですので大きな声では言えませんが、保護者のみなさんにだけこっそりお教えしましょう。たとえば「生徒玄関前の赤い車の移動をお願いします。」

という放送が流れたら不審者侵入による避難指示だということをあらかじめ決めておくのです。本校の実パスワードは残念ながら紙面に記述することはできません。

そう言えば以前にこんな放送がありました。

土曜日がまだ半日授業日だったころのことです。子どもたちはまだ教室に何人か残っています。仕事を終えた先生は職員室で昼食を食べはじめています。しかし、一人の先生が頼んだ出前のラーメンが手つかずで机に残っています。同僚の先生が昼食が届いていることを校内放送で連絡しようとしています。しかし、年配の女先生が、校内に子どもがまだ残っているので放送ではなく自分が行って伝えてくると言います。ところがこの先生、平気な顔で放送室へ入っていきます。まもなく、校内放送がありました。「ピンポンポンポン、〇〇先生、職員室でお客様が伸びてまーす。」

